

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



## 目次



- ☆虫めがね1 . . . . . 2
- ☆虫めがね2 . . . . . 3
- ☆クイズ・バザー募集 . . . . . 4
- ☆活動報告 . . . . . 5
- ☆学習会報告 . . . . . 6
- ☆職員挨拶 . . . . . 7
- ☆寄付のお礼、スケジュール、  
太田連載 . . . . . 8
- ☆小野塚連載 . . . . . 9
- ☆岡本連載 . . . . . 10
- ☆夕会便り . . . . . 11
- ☆編集後記 . . . . . 12





# 巻頭文

新緑になりだし薫風が  
吹いて来る今日この頃、  
皆様如何お過ごしでしょ  
うか。過ごしやすい時期  
かと思われませんが、体調  
にお気をつけて下さい。

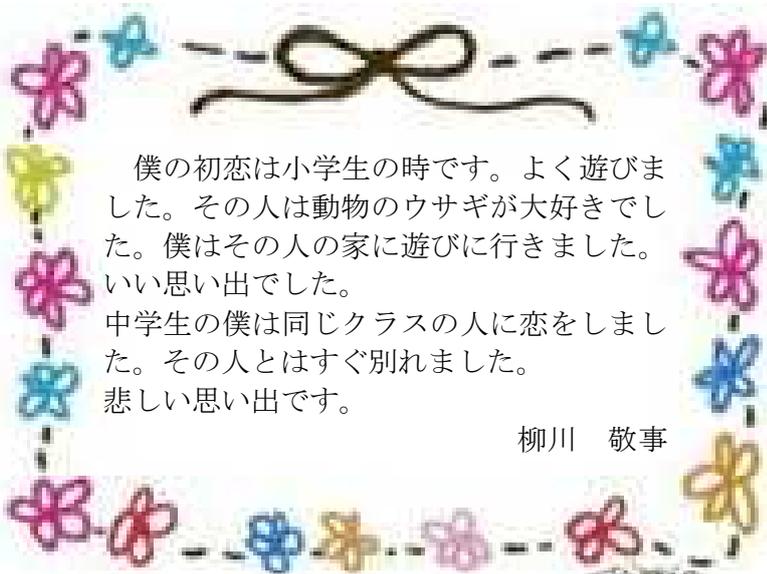
田村

## 虫めがね テーマ～初恋～

### 初恋

僕の初恋は、昭和二十二年頃、僕は上野の池之端に、母と一緒に棲むところがないため倉庫を借りて住んでいたことがあります。そこには、もう一家族住んでいました。その家族にも障害者が一人いたのです。名前は鈴木信子ちゃん。彼女は頭がよく僕にとってはお姉さんのような存在でした。初めは、親同士がつきあうようになりそのうちに僕と彼女がつきあい始めたというものでした。そして僕達は段々仲良くなっていったのです。ところが別れは三年後にやってきました。彼女のお父さんが転勤で北海道に行くことになってしまったのです。それまでの間の僕達はすごく仲良しただけに、子供ながらその悲しみはひとしおだったのかなと想われます。今でもどこかで信子ちゃんに会えるなら会ってみたいと思っています。

太田 稔



僕の初恋は小学生の時です。よく遊びました。その人は動物のウサギが大好きでした。僕はその人の家に遊びに行きました。いい思い出でした。中学生の僕は同じクラスの人に恋をしました。その人とはすぐ別れました。悲しい思い出です。

柳川 敬事





# 虫めがね

～初恋～

初恋は僕が40年前の11歳の時です。  
名前は石井ひろみさんという女の子で、手を握っ  
てくれたのが嬉しかったです。

他にも、佐伯めぐみさん、小林ゆうこさん、岡本さ  
んも、いつも挨拶をしてくれて大好きでした。

ちなみに今は風呂屋のゆかりさんというお姉さん  
が好きです。一目みて恋におちました。好きになりま  
した。

金子さんも、眼鏡をかけたかわいいお姉さんで  
好きです。ナンパしたら断られてがっかりしました。  
女の子にもてたいです。

松本恵司



# Ryo's エニグマルーム

今号から田村のプチコーナーとして、毎号数問を出していくことになりました。問題の種類は多種多様に出していきますが、今回は最初ということで簡単な(?)なぞなぞだけにしておきます。問1以外を全問正解できる人は居ますでしょうか?答えは今号のp.11に掲載しています。

問1、『子子子子子子子子子子子子』を読解して下さい。

(注) 簡単ななぞなぞと呼べるレベルではないのですが、一応一番最初に書くなぞなぞということで、日本で最初のなぞなぞと言われるこれを出してみました。解ける人は本当に凄いと思います。

問2、朱色のビンが2本並んでいる。中身は?

問3、この動物園は、いろんな動物が飼育されている。特にある動物が何種類も飼育されている。しかも、それぞれが何十頭といるのだ。ある動物とは?

問4、お米を収穫するときに、借りてくる物って何?

問5、イベントがいつあるのか分からなくて、いつも当日に確認しなければならない場所とは?

問6、ある人が眺めの良い場所に、念願の家を建てた。建てたかったのは、高い家、長い家、広い家のうちどれ?

問7、夕日が沈む頃、ハンバーガー店にラッキーセットを買いに行った。いくつ買った?

問8、いつも売れ残る缶詰はサバ、シヤケ、マグロのうちどれ?

問9、柔道や剣道などのスポーツをやっている人が好きな果物とは?



十月にある区民まつりで売  
る為の文庫本を募集していま  
す。汚れ・落丁等が目立つ場  
合はご遠慮ください。  
※送料は申し訳ございません  
が、自己負担でお願い致しま  
す。  
※港区内の方はご連絡頂けれ  
ば、要相談で取りに伺います。

バザー商品  
募集のお知らせ

連絡先

〒108-0075

東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階

TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213



# 活動報告

3月の風の子の大きなトピックといえば、料理教室と送別会だ。料理教室は、2週目の土曜に行われた。ボランティアも多く集まってきて盛り上がったようだ。作ったのは鉄板焼き。お好み焼きや焼きそば、野菜焼きなどを作った。お好み焼きはおたふくソースを買い忘れたために間の抜けた味になってしまったが、それもまた良い思い出となるだろう。



月末に催された送別会には、たくさんのボランティアが出席してくれた。それは、岡さんが19年という長きにわたって職員を務めてくれたからだろうし、岡さんや河原さんの人徳故だろう。多くの方が出席してくれたお陰で会は盛大なものとなった。メンバーもボランティアもそれぞれに思いを告げて、笑いあり涙ありのとても良いパーティーだった。



この月は、僕自身も含めたメンバー、職員共に体調を崩してしまった人が多かったように見受けられた。例年に比べて冬が寒く、しかもいつまでたっても暖かくならなかったために仕方ないともいえる。けれど、健康あってこそその身体であり、健康あってこそその人生だ。自戒の念も込めて、体調管理にはくれぐれも気をつけようということで、結としたい。

小野塚 航

# 学習会報告

三月七日は、昨年「歌と踊りの集い」の演目としてだした「五右衛門」を一日楽しみました。只今回は、「歌と踊り」の時の声優陣と俳優陣を入れ替えてやってみました。

三月一四日は、ヒューマンぷらざでカラオケをしました。カラオケは先々週の予定でしたが、大雪が降り、路面凍結で危険と判断したので、この日に延期しました。一人2～4曲歌っていました。



三月二一日は、三月二八日～四月二十五日分の予定決めをしました。前半一時間は、先月初めて担当者を決めて自発的にする学習会だったので、「それを踏まえて楽しめたのか？」の反省会をしました。



三月二十八日は、今年二月に開通した東京ゲートブリッジ（江東区若洲～大田区城南島間約8kmを結ぶ東京港臨海道路の一部で、全長2,618m）をキャブ3台で約40分で渡りきり、橋を降りた若洲公園で水分補給をして、帰路（送迎）につきました。交通はというと、埋め立て地帯なので、道幅が広く大型のトラックが多かったのが印象的でした。

※ほぼ通常通りの送迎時間でした。

報告者 三木 直人

# 新職員 紹介



長年、風の子に尽くして下さった岡さん、河原さんの後に微力ながら勤めさせて頂いていただくことになりました。気がつかないこと、気が回らないことなど一杯あると思います、どなたでも遠慮なく声をかけて教えてください。  
皆様と楽しく、快適に過ごしていきたいと考えてます。これからも宜しくお願い致します。

諏訪 敏子



## 石田菜帆

平成元年4月3日生まれ(23歳)  
東京都神津島村出身、  
千葉県市川市在住  
趣味:バレーボール観戦  
好きな食べ物:中華料理  
嫌いな食べ物:きのこ類、魚卵

はじめまして。石田菜帆と申します。以前は知的障害、精神障害者の作業所で職員をしていました。伊豆諸島の神津島出身です。

まだまだわからないことばかりですが、少しでも早く馴染めるよう努力していきたいと思えます。よろしくお願いします。

# 寄付のお礼

～賛助会にご賛同して下さった方～

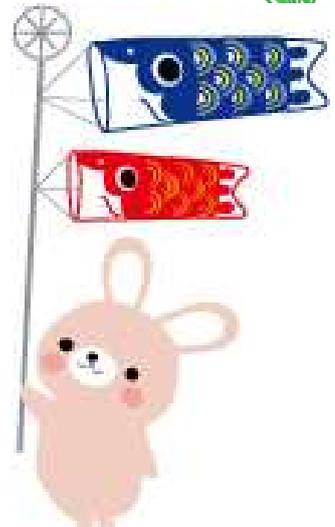
市川美江様、内田茂様、岡竹徹様、小倉英克様、  
高野カネ様、相蘇正義様、長坂富紗子様、山本喜美枝様  
滝口稚祥様・知子様、



ありがとうございました。

## スケジュール

- ★ 四月二十一日（土）・・・クラブ活動
- ★ 五月十六日（水）・・・運営委員会
- ★ 五月二十日（日）・・・外に出よう（本番）
- ★ 五月二十一日（月）・・・代休
- ★ 七月七日（土）・・・歌と踊りの集い



どうも一日に一回飲まないと落ち着かない。  
これは厳密に言えば僕は今軽いコーヒー中毒  
にかかっているといえよう。中毒といえばよく  
母が話していたことを思い出す。それは母  
がまだ女学生時代の頃のことだった。母は仁  
丹が好きになり「仁丹中毒」らしきものにか  
かってしまったのだ。「仁丹中毒」とは意外  
と怖いものでしょっちゅう仁丹を口にしてい  
ないと落ち着かなく気持ちがいらだってくる  
ようになるそうだ。うちの母も若い頃は仁丹  
の愛用家だった。

僕の生い立ち  
第十二話

## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第44話 就職セミナー体験

どういう経緯でそこに行くことになったのか、今ではもうはっきりと思い出せなくなってしまったが、5年目の夏季休暇中に障害者向けの就職セミナーに参加することになった。それは、大学を留年した上にその先の展望も見い出せずにいる息子を気がかった母親の気遣いと、その思いに応えようとして話に乗った息子が二人して動いてみようと思ったということだったのかもしれないし、単に様々な偶然が重なった上での行動ということだけだったのかもしれない。どちらにせよ、僕は母親と二人で代々木（だったと思う）のセミナー会場へと向かった。

その頃の僕は髪を長くし色も染めていたので、黒く染め直してばっさりと切り、スーツを身にまとって多少の緊張感を伴いながら受付に向かった。名前を記入した後で受付の女性にきっぱりとこう言われた「指輪は外した方がいいですね」。顔を真っ赤にしながらかんてて指輪をはずしつつ、更に緊張感が増した気がした。指輪なんてあらかじめ外しておくのは当然だ。当時の僕は、そんなことすら気づかないほど未熟だったのだ（それから15年近く経っても、成熟したという実感はさほどないけれど）。

会場に入るとそこは、更に僕を打ちのめすような雰囲気待ち構えていた。障害者向けのセミナーとはいっても、そこに参加している学生たちは一目見ただけでは「どこが障害なんですか？」と思うような人達ばかりだったのだ。僕のように親同伴で参加している学生なんてほとんどいないし、健常者とほとんど差もなく自分で歩き自分で喋れる学生ばかりだったのだ。受付で緊張感が増し、イメージしていた会場の雰囲気とのギャップに打ちのめされ、僕の頭は完全に真っ白になっていた。

頭が真っ白な状態のまま、いくつかの企業のブースを回る。親に車いすを押され、親のフォローを受けながら、緊張状態の極致でまともな対応もできない僕では、企業側の反応も評価も薄く低いものとなるのは当然だ。3つか4つの企業をそんなふうに戻った後で、僕は開き直った「どうせ駄目な結果に終わるのなら、せめて最後くらいは自分自身をできる限りさらけ出してみよう」。それは、悪い意味でなく良い意味での開き直りだったのかもしれない。

最後に向かったのは大手新聞社だった。こんな大きな企業が僕など受け入れることもないだろうと思い、それまでであった緊張感も吹き飛び、前向きにいろいろと話をした。それがよかったのか、相手がいい人だったからなのかは分からないけれど、応対してくれた人も親身になって聞いてくれた。話が一通り終わると彼はこう言った「後日試験があるのですが、受けてみる気はありますか？」。開き直った結果がまさかこんな展開になるとはと驚きながら、試験日程と試験会場を確認して就職セミナーを終えた。

後日その大手新聞社の試験を受ける。就職活動をまるですてこなかった僕が通用するはずもなく、結果は不合格に終わった。自分には社会性や社会経験が大きく足りないのだということを感じさせられた結果となってしまったが、同時に社会に出るためにはこれまでとは違う意味での熾烈な努力を積み重ねていかねばならないのだということを感じ知った貴重な経験でもあった。

～ 第45話へつづく ～

## 風の子便り連載

### バリアフリーよもやま話

### 第9回 「身体障害者補助犬」

目の不自由な方の歩行を助ける盲導犬はよくご存知のことと思います。盲導犬のように障害のある人の助けをする犬を身体障害者補助犬といいます。身体障害者補助犬には盲導犬のほか、耳の不自由な方を助ける聴導犬、肢体不自由の方を助ける介助犬があり、身体障害者補助犬法という法律で定められています。現在、盲導犬は約1,000頭、聴導犬は約30頭、介助犬は約60頭が働いています。これらの補助犬を必要としている人はそれぞれ1万人から数万人いるということから考えるとまだまだ少ないですね。

盲導犬は訓練所できびしい訓練をうけたあと、盲導犬としての仕事が始まります。盲導犬は訓練されたことを忠実に守ります。このたびの震災で、盲導犬といっしょにワゴン車の中に逃れた方がおられます。しかし車ごと津波で流されてしまいました。しばらくは水に浮いていたのですが、だんだん進水してきて、車の床に水が溜まってきました。その方は盲導犬を座席に上げようとしたのですが、どうしても上がってこないのです。普段盲導犬は座席には上がらないように訓練されていたからで、無理やり抱いて座席に座らせたそうです。その方は車から助けられたとき、「先に犬を助けてくれ！」と叫んだそうです。

犬は訓練が大変だからロボットにしよう、と盲導犬ロボットが研究されています。まだ実用化されていませんが、いろいろな最先端の技術が使われています。面白いことに、電動車いす型の盲導犬ロボットがあります。電動車いすなら歩道を走れるから、ということです。

一方、聴導犬は、なんとほとんどが捨て犬なんだそうです。ですから犬の種類はさまざま。保健所につれてこられた犬の中から、聴導犬に向いていそうな犬を探して訓練をします。訓練は盲導犬のように厳しくなく、性格が重視されます。聴導犬は、玄関のチャイム、目覚まし時計、火災報知器、電話などの音がすると、飼い主のところにとんでいって、前足で身体を叩いたりして耳の不自由な人に知らせます。

介助犬は肢体不自由の人の手足となって、日常生活のいろいろな動作の補助をします。その仕事の主なものは、落ちたものを拾う、指示したものを持ってくる、緊急のときに家族を呼んだり、緊急チャイムを鳴らしたりして安全を確保すること、です。ほかにも、ドアを開ける、衣服を脱いだり着たりするのを助ける、車いすを引っ張る、エレベータのスイッチを押す、などたくさんのをやってくれます。



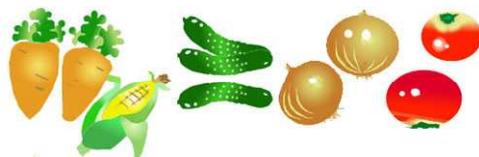
介助犬の種類はなんでもよいそうですが、現在、日本の介助犬のほとんどがラブラドル・レトリバーです。

犬ではなく、介助猿というのが 있습니다。犬よりも寿命も長く、髪をとかしたり、食事の介助をしたりもできます。また犬よりも行動が人間に近いので使う人がパートナーとして受け入れやすい。などが長所といわれています。しかし、人間と近いだけに共通の感染症があったり、排泄のしつけが難しいなどの問題点も多いのです。アメリカなどでは実際に使われている例もありますが、日本では本格的に使われていません。介助猿は犬ではないので、身体障害者補助犬法の対象外ですし、まだまだのようですが、そのうち風の子会の職員にもお猿さんが??

# 夕会便り

3月3日（料理教室について）

三月の十日に行われる、料理教室の会費をいくらにするかの話し合いをして五百円に決まりましたが、今年からは料理教室も以前のように、年に二回ぐらい開くことに決めました。メンバーの強い希望は料理を始める前の材料集め（買い物）から始めたいのだそうです。



3月17日（歌と踊りについて）

七月七日に行われる歌と踊りで、発表される詩を風の子会でも、毎年応募していますが、締め切りは四月中だそうです。



3月24日（旅行について）

メンバー全員で二週間にわたり協議し、色々な案が出されましたがその結果は、風の子会の今年の旅行は静岡県の、浜名湖に決まりました。日程は九月の一日から、二日にかけて行われるそうです。お天気が良いといいですね。

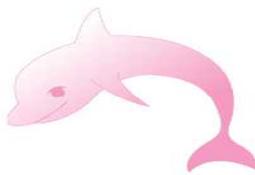
太田 圭子

- 解1、『ねこのこねこ、ししのこねこ、猫の子子猫、獅子の子子獅子』  
 「子」という漢字には、「ね」（訓読み、十二支から）、「こ」（訓読み、「し」（音読み、呉音及び漢音）、「じ」（「し」の変形）の4通りの読み方がある。このため、このよ  
 うな読み方が可能となる。
- 解2、日本酒（2本、朱）  
 解3、鹿（しかも何十頭という）  
 解4、稲（稲刈り）  
 解5、教会（今日かい？）  
 解6、長い家（長めが良い）  
 解7、3セット（サレセット→夕日が沈む頃）  
 解8、鱈（捌かん）  
 解9、アボウ（武道）

答え

## クイズの解答

# 編集後記



僕は食べる事が大好きです。3月25日の夕食はヘルパーさんが野菜も美味しいかってくれました。夕飯はカレーを作ってくれました。僕の本当に料理が大好きです。食事は大切にしたいです。僕は丼ものが大好きです。キャベツを千切りにします。丼飯の上に切ったキャベツを乗せてソースをかけてから食べます。美味しいです。僕は料理で世界の人たちの元気にしたいと思います。

柳川敬事

先日、「料理教室」に参加しました。僕は今まで料理をしたことがなく、ただ見ていて食べるだけかと思っていましたが、「作らざる者食べるべからず。」ということで、作る方も少しは手伝いました。といっても、包丁で野菜を切ることをほんの少しだけ手伝っただけですが、僕は利き手の右手指がうごかず、左手だけを使うしかないので、簡単なことも思うように出来ません。それでも食べ終わった後、かすかながら充実感を味わえました。僕はもともと無芸大食の部類なので、食べる方は頑張りました。食材をその場で全部食べて使い切ったのは、僕達の班だけだったのではないのでしょうか。

ストーン・ゴッド

昨年の3月11日（金）に起こった東日本大震災から1年2ヶ月、まだ時々東北・関東地方などで地震が続いていて避難者も多く居る様です。各地で「復興の願い」を込めて食べ物や洋服等を安く販売したり歌や踊りを披露するというイベントが毎日の様に行われています。避難者達は故郷を思い出したり明日への勇気と希望を与え感謝されていてとても貴重で良い事だと思います。しかし気象庁によると今後いつかもう1回大地震が起こると発表しているだけにまだ油断は出来ないし心配事でもあります。その時は誰でも足で立つ事も出来ないし車椅子も横倒しになってしまう可能性があるため逃げる事は難しいと思うので皆様ご注意を・・・?! 幸 高史

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者  
石太田 三木 柳川  
久敬直亮 一  
代事人彦庸稔郎

和幸右松田小太  
栗田本中野田  
頭塚  
太高磨恵 圭  
郎史子司聡航子

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

